

行事／取組名称	講演会 ―海外における自然科学教育の現状について― 演題：「French System of higher education and research」		
担当部門・機関	「科学T r y アングル岡山」連携教育推進センター		
開催日時・期間	H22年3月8日（月） 13:30～15:00	会場	岡山大学 一般教育棟C棟2階 C25 講義室

概要

本連携事業では、諸外国の大学における自然科学教育の現状を知る目的で、海外調査または海外大学の教員を招へいし情報収集を行う事業を行っている。

今回はフランスのセルジー・ポントワース大学 副学長 Diep, The Hung 教授を招き、「French System of higher education and research」と題し、英語でのご講演をお願いした。

また、講演終了後は質疑応答を行った。

参加者

連携機関の学生・教職員 計 28名

（会場となった岡山大学・連携大学は春季休講期間中であつたが、7名の学生が参加した）

報告事項



会場となった岡山大学の田中副学長より開会の辞が述べられ、引き続き、原田センター長から Diep The Hung 氏の紹介があつた。Diep 氏は神戸大学大学院に留学した経歴を持ち、それ以来30余年を経た今もその日本語能力を維持し、時折、参加者一同に向かつて日本語での説明を行った。

講演は、(1) フランスの大学の運営と組織について、(2) 所属のセルジー・ポントワース大学について、(3) セルジー・ポントワース地域の紹介の三部構成で行われた。特に、講演後の質疑応答では、(1) についての質問が相次いだ。フランスでは、大学教員を「研究職」「教育職」の2種に区別し、毎年詳細に渡る評価項目を点検する。その結果、教員間に競争意識が生まれ、研究・教育の向上につながっている。また、大学の学制として、3-2-3年制を取り、学部を3年の短期で卒業させ、修士・博士課程での研究を行いやすい環境を提供している。博士課程の学生の就職支援も手厚く、企業での研究を組み込んだプログラムを行うなど実践的な取組みが行われている。



参加者数は他の行事と比較してやや少なかったが、参加した教員・学生が、講演後も講師と談話を行うなど、海外の教育事情について学ぶ有意義な機会となった。